

数字で見る働く環境



年間休日

128日
(2025年度)



スーパーフレックス
タイム制度利用率

90%以上
(2024年度)



平均残業時間

月 **17.23** 時間
(2024年度)



平均勤続年数

<男性> **18.9**年
(2024年度) <女性> **13.5**年
(2024年度)



平均年収

798万円
(2024年度)



離職率

※正社員のみ自己都合退職者
(定年、退去除く)

1.08%
(2024年度)



有給休暇取得率

65.2%
(2024年度)



従業員一人あたりの
教育研修費用

5.5万円
(2024年度)
※全国平均 3.4万 参照:産労総合研究所
「2024年度教育研修費用の実態調査」



育休取得率

<男性> **87.5**%
(2024年度) <女性> **100**%
(2024年度)
※当社独自の育児休暇
(特別休暇)を含む

あらゆる世界と タッグを組もう

未来をつくる、技術力と営業力



商 号 八洲電機株式会社
Yashima Denki Co., Ltd.
創 立 年 月 日 1946年8月8日
代 表 者 代表取締役社長兼グループCOO 清宮茂樹
資 本 金 1,585百万円(2025年3月現在)
売 上 高 連結 66,075百万円(2025年3月期)
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場 証券コード3153
従 業 員 数 連結 1,026名(2025年3月現在)
本 社 所 在 地 〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

くわしくはこちら



営業と エンジニアが協力し、 あらゆる領域の 未来をつくっています

プラント事業

《鉄鋼分野》

鉄鋼業界、非鉄金属業界の大型設備維持・管理・更新に向けた、様々なニーズにお応えしています。圧延ラインやプロセスラインにおける電源システム・PLCシステム・ドライブシステムを柱とした各種電機制御システムの構築、お客様のカーボンニュートラル実現に向けた環境配慮型製品、各種ソリューションを提供しています。

また、お客様のDX・GX推進に対し、各種データを使ったサイバーフィジカルシステム等、新たなソリューションにも取り組んでいます。

《エネルギー・産業分野》

石油・化学プラント及び製薬・精密機器工場等に対し、生産プロセスを把握、よりハイレベルな安全・安定・高効率な操業を実現するため、各種機械設備をはじめ、発電・受配電設備等の強電分野、電気計装、監視制御等の弱電分野、プロセス冷熱・空調事業、各保守事業に至るまで、幅広いニーズにお応えしています。

お客様が取組まれるDX・カーボンニュートラルの実現に向け、エンジニアリング力を発揮し、マルチベンダーとして付加価値の高いソリューションを提供します。

公共・設備事業

公共分野では、上下水道・空港・公共施設への監視制御システム、受変電設備等を提供しています。また、建設分野ではビル・商業施設へ業務用空調機やLED照明等を提供、さらに通信・データセンター分野では高顕熱型空調機・高発熱サーバー用冷却装置を提供、保守サービスを通して持続可能な社会の実現に貢献しています。

受変電設備

情報通信

鉄道

航空関連システム

オフィスビル

空調

上下水道システム

データセンター

交通事業

鉄道の安全・安定輸送、サービスを支える車両や設備等の提供からメンテナンス&サービスまで幅広く対応しております。プレエンジニアリングから、設計・製作・施工、試運転調整やアフターサービスまで鉄道分野に精通したエンジニアがワンストップでお応えするとともに、鉄道事業者が運営する沿線開発事業向けにも環境・省エネ・省力化に優れた「付加価値の高い最適なソリューション」を提供しています。

(引用: report2025.pdf P8~10)

八洲電機のビジネススタイル

私たち八洲電機の仕事は、単に電気設備を販売したり、設置するだけではありません。お客様の課題を聞き出し、最適な仕組みやシステムを「設計し、つくり、守る」ここまでを一貫して担うエンジニアリング会社です。



ワークフロー

八洲電機の仕事は、お客様の課題を丁寧に聞き取り、最適な解決策を提案することから始まります。営業と技術が連携し、設計・施工を通じて技術的な付加価値を提供、納入後も保守や改善を続けながら安定稼働を支えます。提案から保守まで一貫して担うことで、確かな信頼と価値を生み出しています。



社会インフラを支える責任を、
チームワークと
自身の行動で果たす。

営業職

公共システム部
公共システム三課

N.R
(2019年入社)



お客様との接触を増やし、知識を実感に。成長はその先にある。

「外に出て人と関わる仕事がしたい」と思い、営業職を志望しました。会社説明会で感じた明るい雰囲気と、歴史と実績があり信頼ある製品を扱う点に魅力を感じ、八洲電機に入社を決めました。入社当初は文系出身ゆえに、技術的な知識の壁に苦労しました。会話の中で飛び交う専門用語が理解できず、「日本語なのにわからない」と感じることもありましたが、それでも現場やお客様先へ足を運び、製品を自分の目で見て、触れて、少しずつ理解を積み重ねていくうちに、知識と実感が結びついていきました。今では、技術的な話にも自信をもって応えられるようになり、自分の成長を実感しています。



あらゆる経営課題の解決を目指し、技術と営業が一つになって課題に取り組む。



現在は、空港や省庁を中心に、提案から納入・保守更新までを一貫して担当しています。長期的にお客様と関わる仕事だからこそ、「困ったらNさんに相談しよう」と思ってもらえる存在を目指しています。営業と技術が「二つで一つ」の関係で課題に取り組むこの環境では、専門知識だけでなく、人との信頼関係やスピード感が成果を左右します。時には空調機等の突発的な故障対応の相談も頂きますが、まず自分が動き、解決の糸口を探すことを大切にしています。社会インフラを支える責任と誇りを胸に、これからもお客様の期待に応え続けていきたいです。

Time Schedule ある1日のスケジュール

- 9:30 出社
メールチェック返信・TODO確認
- 10:00 事務作業
(見積作成・資料作成)
- 12:00 昼休憩
- 13:00 社内打合せ
- 15:00 お客様先にて打合せ
- 18:30 直帰

message

文系・理系に関係なく、まずは一歩踏み出すことが大切だと思います。最初はわからないことだらけでも、現場で見て、聞いて、学んでいけば必ず形になります。八洲電機には、挑戦する人を支えてくれる先輩や仲間がたくさんいます。

理念を理想に、理想を成果に。
未知に挑み、
経験を力に変えていく。

技術職

交通エンジニアリング部
交通技術一グループ

Y.K
(2021年入社)



社会に貢献する理念に共感し、現場で“学び”を重ねる。

私は八洲電機の経営理念に共感し、入社を決めました。学生時代にアカベラサークルで180人をまとめる代表を務め、理念を軸に人を動かす重要性を実感していたからです。文系・理系を問わず共感できる理念を持つ企業を探していた私にとって、八洲電機の“信・愛・和”、特に「社員と社会に愛される会社」を目指すという考え方はまさに理想でした。入社後は交通エンジニアリング部に配属され、大手私鉄の変電所リニューアル工事を担当。初めて現場を見たとき、阿吽の呼吸で作業が進んでいく様子に強く感動しました。安全第一を徹底しながら、一人ひとりが目的に向かって自律的に動く。その現場に、自分の仕事の意味を実感しました。



享受した知識や経験を基盤として判断し、創り、信頼で応える技術者へ。



現在は、変電所リニューアルプロジェクトのメンバーとして、計画から施工、試運転まで一貫して携わっています。現場では「理解」から「判断」へと求められる役割が増え、自分の判断が形となる“手応え”を強く感じています。理論だけでは語れない現実的な制約の中で最適解を見出すのが技術の真価。お客様の設備をお客様以上に理解し、最も信頼できる相談相手になることを心がけています。座右の銘は「一を聞いて十を知る」。言葉の裏にある意図や背景を汲み取り、最良の判断を導くよう努めています。今後は、上司や先輩から教えてもらったことに“結果で返す”を目標に、無事故無災害で社会インフラを支え続けたいです。

Time Schedule ある1日のスケジュール

- 8:30 現場に直行
- 9:00 朝礼
- 9:30 作業開始
- 10:00 施工管理・計画書作成・安全巡視
- 12:00 昼休憩
- 13:00 施工管理・計画書作成・安全巡視
- 15:00 工程会議
- 17:00 終礼、帰宅

終日現場作業というスケジュールを想定しています。日によっては、終日社内作業をすることや、案件によっては夜勤が発生する可能性があります。

message

現場でしか学べないことがたくさんあります。理論では想像できないリアルな課題に出会うたび、成長の手応えを感じます。まずは気軽に説明会へ来て、八洲電機の雰囲気を体感してみてください。きっと新しい発見があります。

Q. 皆さんはなぜ八洲電機を選んだのですか？

K.T. 一番は自分の学びが活かせる会社！と思えたことですね。もともと自分の大学OBが八洲電機に多く入社していたのでそれがきっかけですね。それと施工管理の会社のインターンは結構参加しましたが、他社は業界がビルだけとか領域が限定的なところが多くて。八洲電機は交通、インフラなど多くの産業を支えているところが魅力的でした。



Y.S. 私の入社理由はかなり珍しいかなと思います。専攻が生物化学だったんですね。そうするとやはり大学院生と戦うことになり、メーカーの研究職などに絞られてしまうので、もっと事業に直結するような仕事を考えてこの会社を選びました。生物化学卒でも全然大丈夫ですよ(笑)。あとは福利厚生や働き方にフォーカスしたら八洲電機でしたね。

S.Y. それはありますね。休みも増えてきているし、まだまだ活用しきれていない制度もあると思いますし。就活生にとって魅力的に感じる働き方を人事の皆さんや会社全体で改善しているところは大きいと思います。

Y.E. 私のときも感じました。人事の方と接していい会社だなと思えました。インターンに参加したときですが、面接のときのアドバイスをいただきました。これは八洲電機の対策ということではなく、「もし、あなたが今後ほかの会社でも面接を受けるなら…」という感じで、私の人となりを見て助言してもらえたことが印象的でした。一人ひとりを見てくれている優しさのような。メーカー志望でしたが、まったく異業種でも八洲電機がいい！と思えましたね。

S.Y. 私は勤務地という点も大きかったですね。もともと小売業の全国転勤ありで検討していましたが、本社が東京にあるため、関東近郊や東京で働ける可能性が高いという部分は、家族や友人との関係を考えたとき大きな要素になったと思います。



若手社員が考える

八洲電機を選んだ理由と魅力



Q. 入社前のイメージと入社後のリアルにはどんな違いがありましたか？

K.T. 施工管理や現場監督の仕事って聞くと、協力会社含めた人間関係を構築しないといけないというイメージがあって、最初はついていけるかなという不安があったんですけど、八洲電機に入社して皆さんとても優しく、横のつながりはもちろんなんですが、縦のつながりも強くチームワークの良さを実感しました。協力会社さんも含めて“チーム八洲電機”という感じです。

Y.S. 確かにそれはありますね。意外に若い方が多いですね。特に私の部署は30代以下の方も多いので話しやすく相談しやすい環境だと思います。それに同期もだいたい20名くらいはいるので、そういう意味でも働きやすい職場だと思います。

Y.E. 私は文系だったので、営業としてついていけるのか心配でしたが、経験不足な現場や製品のことは技術の方に聞いて、教えてもらったりしたので入社前の不安が払拭されました。営業も技術も一緒というのは当社の強みだと思います。

S.Y. 私が入社したのは結構前なので、少し皆さんとは違うかもしれません。もちろんチームとしての強さみたいなものは変わらないですが、以前と今では環境が大幅に変わった気がします。フレックスであったり在宅勤務であったり、働き方が柔軟になっていると思います。以前は全体朝礼がありましたが、今はなくなって日々の報告でカバーできているところが、形式的ではない本質的なやり方にシフトしていると思っています。

Q. 八洲電機の魅力はどんなところにありますか？

Y.E. 先ほどの話にも通じますが、やはり風通しの良さですね。先輩にしても社内との関係部署にしても何を聞いても優しく答えてくださるってところですね。また個人的には、自分が入社したときは女性社員がまだ少なかったんですが、どんどん積極的に女性を採用しているので、社内でもよりコミュニケーションが取りやすい環境になっています。



K.T. 風通しで言えば、制度が使いやすい企業風土というところですね。例えばスーパーフレックスタイム制度では、制度があったとしても、それが実質的には使いにくいという意味があるところがあると思います。ですが、当社の場合は、柔軟に活用している社員が多くいますし、自分や周りの社員も積極的に活用しています。

Y.S. 物理的なところで言えば、東京の一等地に自社ビルがあるところですね。他の友人などに聞いても、このような自社ビルを持っている会社は少ないので企業としての経営基盤の強さみたいなものを感じますね。



S.Y. 仕事面で言えば、自分が任せてもらえる裁量が大きいかなと思います。もちろん先輩や上司から意見をもらってというところはありますが、自分の意見を投げかけてそれを採用してもらったり検討してもらえるところはやりがいになりますし。自分が勉強する意欲やレベルアップにつながるとこかなとは思っています。

Y.E. やりがいが持てる会社ですよ。ウェルビーイング経営を推進しており、制度面で課題となるようなところを毎年改善し続けていることも目に見えてわかります。その上でエンジニアリング会社として、より成長していくためには今以上に営業と技術の掛け合いが増えていくのがいいかなと思います。会社としては技術力を持った営業とか営業の視点を持った技術の人が増えていくことは理想だと思いますし、当社の唯一無二の魅力につながっていくと思います。

S.Y. いい視点だと思います。私も技術の若手社員には負けないくらいの知識量をもって、仕事に取組んでいきたいなと思っています。

研修制度 若手社員研修

八洲電機では、人材こそ成長への原動力であると位置づけ、「創造」「挑戦」「協力」、この3つを「求める人材ビジョン」として教育を行っています。このほかにも、階層別研修や専門教育等、様々な研修制度を実施しています。

新入社員研修

約1か月の研修期間となります。会社の理念やビジネスモデルを理解するとともに、ビジネスマナーや社会人としての基本姿勢を学びます。

新入社員 フォローアップ研修

入社半年後(10月)と、年度末(2月)に実施をします。業務の振り返りや成果発表を通じて成長を確認しつつ、次の目指すべき姿勢へとつなげます。また、配属部署に応じて製品研修や技術研修も受講していただきます。

若手社員研修

入社3年目まで、各年次に応じた集合研修を実施しています。段階的にスキルを高め、さらにステップアップできるよう、学びを深めていきます。

キャリアモデル 若手社員

専門知識は、入社後の手厚い研修と2年間の指導員制度を通じて覚えていただきます。

